



保護者各位

令和2年2月26日

東京都立西高等学校長  
萩原 聡

## 新型コロナウイルス感染症への対応について

早春の候、保護者の皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、連日報道されている新型コロナウイルス感染症ですが、国内でも感染経路が不明な感染者が出始めており、厚生労働省・文部科学省等の連絡を受けて、本校でも、学校医等の助言を参考に、下記の要領で感染拡大防止に取り組んでまいります。ご理解とご協力の程、よろしくお願い申し上げます。

記

### 1. 感染が疑われる場合の校内の対応について

#### 1) 発熱等のかぜ症状が見られるときは、登校を見合わせ、自宅休養をしてください。

毎日、体温を計測・記録しておく、その後の相談・受診の際に参考になります。

厚生労働省相談窓口 0120-565653 (9:00~21:00 土・日・休日含む)  
東京都新型コロナウイルス感染症電話相談窓口  
(一般相談窓口) 03-5320-4509 (9:00~21:00 土・日・休日含む)

#### 2) 以下に該当する場合は、帰国者・接触者相談センターにご相談の上、指示された内容を、速やかに、学校にご連絡ください。

○かぜの症状や37.5℃以上の発熱が4日以上続く

(解熱剤を飲み続けなければならない場合も同様)

○強いだるさ(倦怠感)や息苦しさ(呼吸困難)

※基礎疾患のある方は2日程度続いたら、早めにご相談ください。

※耐え難い症状がある場合は、4日待たずにご相談ください。

帰国者・接触者相談センター

平日・日中：最寄りの保健所の相談センター

平日 17:00~翌9:00 土日祝日 終日 03-5320-4592

#### 3) その他で医療機関を受診したい場合

現時点では、新型コロナウイルス感染症以外の病気の方が圧倒的に多く、かぜ、インフルエンザ、花粉症等の心配がある人は、躊躇せず、通常どおり受診してください。事前に医療機関に連絡し、症状を伝えて通常どおり受診して構わないかを確認してから受診するとスムーズです。

参考：新型コロナウイルス感染症についての相談・受診の目安

## 2. 校内での感染対策

### 1) せっけんを用いた手洗いを徹底してください。

呼吸器感染症を予防するための手洗いのタイミング

- ① マスクを外した時
- ② 人の咳やくしゃみ等による唾液や痰、これらの環境や汚染された物触れた後 ex. 掃除後
- ③ 登校した直後 ※ 外からウイルスを持ち込まない
- ④ 食事や間食の前
- ⑤ 多くの人が触った物や環境に触った後 ex. 電車のつり革やドアノブ等

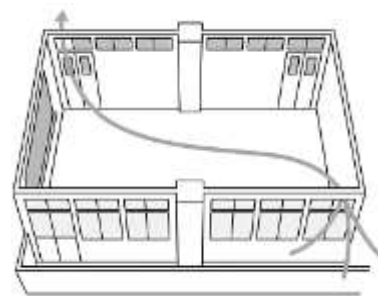
引用：東京都済生会中央病院ホームページ・呼吸器感染症の予防法より

※昇降口に手指消毒用アルコールを置いていますが、流水でせっけんを用いて手を洗うことで、ウイルスを機械的に洗い流すことが基本です。あくまで補助的にお使いください。

### 2) 毎時間、授業が終わったら、教室の換気をしてください。

時間は5～10分、2か所以上の窓を対角線上になるように開けると効果的です。(下図) 入口の窓は小さく(5～15cm程度)、出口の窓は大きく開けると、効率的に空気を動かすことができます。

引用：フマキラーHP・部屋の換気の仕方！効果やメリットより



### 3) 以下の行為は感染のリスクが高いので、控えてください。

- ① ペットボトルの回し飲み コップの使い回し等
- ② 同じお皿や袋からの飲食
- ③ タオル等の共有
- ④ 対面で、人と人との距離が近い接触(互いに手を伸ばしたら届く距離)を一定時間以上続けること

## 3. その他

- 1) 学校では、安全・危険区域を分けることが困難なため、一般の基準より早めに対応いたします。学校で発熱や鼻水・のどの痛み・咳・倦怠感・息苦しさ等の症状が出た場合は、保健室での休養はさせずに、早退を促しますので、ご家庭で経過観察をしてください。
- 2) この対応は、現時点で関連諸機関の情報をもとに検討いたしました。今後、ウイルスの性質が解明される、または、感染の拡大状況等に応じて、柔軟に対応を変更いたします。また、流行が収束したら、速やかに通常どおりの対応に戻します。

以上、どうぞよろしくお願い申し上げます。